

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	SORATO (UMIE) いなみ第二教室 ※SORATOいなみ第二教室			
○保護者評価実施期間	2024年10月23日 ~ 2024年11月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2024年11月18日 ~ 2024年11月25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・言語聴覚士によるプログラムにより言語に特化した個別療育を行っている事。	・個別療育で最終目的は同じでも飽きの来ない様に教材に変化を付ける事やアプローチ方法を変えて行う様に工夫している。	・個別療育を行う際に同じ職員・同じ教材ばかりにならない様に配慮していく。
2	・集団活動をするにあたって室内に十分な広さがある為、お子様や職員の動きに制限されることが少ない。	・広すぎる事から職員の死角が生まれてしまう恐れがある為、出来る限り死角となる場所を作らない様に行っている。	・常に全体が見渡せている職員を毎回決めておく。

3	・午前と午後の利用者様を分けている事から少人数制で細やかな療育支援を行う事が出来る環境である。	・年齢や環境で分けている為個別活動は勿論の事、集団活動（小集団活動）の際に個別で補助や支援を行えている。	・特に小さいお子様の多い午前中には職員の人数を増やしているので現状を維持できるように努めたい。
---	---	--	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・午前と午後に分けて支援を行っている為、日々の作業時間が取りにくい。その為、新しい教材の考案・制作が滞ってしまう事がある。	・営業時間の中でお子様の支援時間を占める割合が大きい為、まとまった時間が取りにくい。	・スケジュールの細分化を図り、過剰人員による支援を避け、必要な職務内容を行えるようにする。
2	・外部研修に行ける機会が少ない。	・営業時間の中でお子様の支援時間を占める割合が大きい為、まとまった時間が取りにくい。 ・午前中の研修が多いため支援時間と重なってしまい、支援にあたる職員の人数を減らす事がしにくい。	・職員の配置の変更や、勤務時間を変動させて時間を工面する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 SORATO (UMIE) いなみ第二教室 ※SORATOいなみ第二教室

公表日 2024年12月27日

利用児童数 20

回収数 20

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100% (20人)				・十分に広いスペースの確保が出来ていると思います。 ・広くて綺麗なのが決めたの一つでした。	指導訓練室は基準の2倍以上のスペースを確保しています。 指導訓練室とは別に約70㎡のプレイルームも備えています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	85% (17人)	5% (1人)		10% (2人)	・少ないと感じた事はありません。 ・たくさんいて頼もしいですが実際に児童数に対して何人付いてくれているのか不明です。	現状を維持できるように努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100% (20人)				・物の位置がわかりやすい。 ・個室やプレイルームなど別の部屋なのがあります。	余計な情報が入らず、必要な事がしっかりと伝わるように配慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100% (20人)				・いつも清潔にしてあると感じます。 ・整理整頓されており適度な飾りつけがあって良い。 ・動物が統一してありわかりやすい	現状維持を心がけ過ごしやすい、清潔な空間を維持していきます。

適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	90% (18人)			10% (2人)	・どの先生も子どもの特性を理解してくれています。 ・連絡帳で支援のポイントを教えてくれています。	個別に応じた対応を心がけ、集団活動の際にも児童にあったやり方で参加してもらっています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	95% (19人)			5% (1人)	・合っていると思います。 ・インスタでも見っていますが合っていると思います。	大きな相違は無いが、個々に応じた支援を臨機応変に行って行きます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100% (20人)				・いつも丁寧に作成してもらっています。 ・子どもに寄り添ってもらいながら、保護者のニーズとのバランスを上手く取ってくれている。 ・子どもの性格・成長させたい部分をよく理解してくれています。	保護者様への聞き取りや職員間での日々の支援の中で知り得た情報の共有などを行い作成にあたっています。
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	95% (19人)			5% (1人)	・わかりやすく説明してくれて適切に設定してくれています。	アセスメントやモニタリングを通して随時必要な内容を思案し、計画書に反映させています。
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	100% (20人)				・少しずつ成長している事が感じられるので沿って行われていると感じている。	今後も継続させていただきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	90% (18人)	5% (1人)		5% (1人)	・毎回様々な活動をしている。 ・色々な経験を様々な所からアプローチしてくれている。	同じ目的でも教材を変えたりアプローチ方法を変更したりとマンネリ化しないように常に職員間での協議の元行っています。

11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	55% (11人)	5% (1人)	10% (2人)	30% (6人)	・園に通っている子どもたちと過ごす 事があるので教室内での交流はある と思います。	教室以外での活動は基本行っておりません。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100% (20人)				・見学時に説明は聞きました。 ・契約時に説明は聞きましたが、それ以降でもわからない時は説明をしてくれます。	見学時と契約時に出来るだけ丁寧に、質問等も受け付けて行っています。また、常に質問等あればすぐに相談の機会を設けさせていただいております。
13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100% (20人)				・時間を取って説明をしてもらっています。	お渡しする際の説明は必ず行っています。
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	95% (19人)			5% (1人)	・定期的に勉強させて頂いています。 ・一度だけですが参加しました。 ・研修会はとても勉強になります。	3か月に1度保護者様に向けた研修会、その後に交流会等を行っています。
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	95% (19人)	5% (1人)			・お迎えの時と連絡帳で教えてもらえます。 ・いつも詳しく教えてもらっています。	送迎時にご自宅での様子や健康状態を伺い、療育終了後には本日の様子を口頭と連絡帳で詳しくお伝えしています。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	90% (18人)			10% (2人)	・何度も相談に乗ってもらっています。 ・いつも時間を作ってもらい話を聞いて頂き、心を軽くしてもらっています。	保護者様からの申し入れやこちらの必要時に行っていますが定期的ではない為今後は検討していきたいと思います。

17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	90% (18人)			10% (2人)	・気さくにお話ができるのでしてもらえていると思います。 ・職員の専門知識が豊富なのでいつも頼りにしています。 ・得意不得意への理解、成長した時の喜びもとても共感してもらえていると思います。	支援者としての立場からの意見をお伝えしつつ保護者様と同じ目線で感じる事も大切にしていますので今後も継続していきたいと思います。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	40% (8人)	5% (1人)		55% (11人)	・セミナー講演会など興味深いテーマで開催してくれています。 ・同じような悩みを持つ保護者と話せる事はとても励みになります。	保護者様向けの研修会は行っていますがご兄弟に向けての交流会は現在行っていません。ただ、利用児の相談の際はご兄弟の相談支援も承ってはいます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	85% (17人)			15% (3人)	・相談を希望した時点から早い日時に相談日を決めてもらえています。 ・いつも迅速に対応してもらえています。	改定のあった4月に利用中の保護者様には周知・説明を行い、それ以降の新規の方々には契約時に説明を行い、申し込みがあった際には迅速に対応しております。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	95% (19人)			5% (1人)	・いつも時間を取ってくれています。	視覚支援などを行い出来るだけわかりやすく努め、保護者様には連絡帳やメールまたはInstagramを活用しお伝えしています。
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	95% (19人)	5% (1人)			・Instagramでは活動内容や子どもの様子がわかりやすく投稿されています。	連絡帳とInstagramを活用し、お伝えしています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	95% (19人)	5% (1人)			・気になる事が無いので十分に配慮されていると思う。	鍵付きの書庫にて保管しています。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	85% (17人)	5% (1人)		10% (2人)	・訓練が実施されているのは聞いています。	毎月職員研修の中で勉強・ロールプレイングを行っており、事務所内にて掲示しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	85% (17人)			15% (3人)	・訓練が実施されている事を連絡帳や、インスタグラムで見聞きしています。	契約時に開催する周期・内容の説明は行っています。また実施された際には連絡帳と送迎時に口頭にてお伝えしています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	95% (19人)			5% (1人)	・外に勝手に出入りが出来ない様工夫がされていたり、駐車場との境には扉が設置されており安心です。	見学の際に実際に見て頂きながら説明を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	90% (18人)			10% (2人)	・しっかり説明してもらっています。 ・怪我など詳しく状況などの説明をしてもらっています。	事故の無いように努めていますが、あった際には状況確認後、すぐに保護者様へ連絡を取るか、送迎時にお伝えしています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100% (20人)				・先生やお友達に会うのが楽しそう。 ・泣きながら行きますが笑顔で帰ってきます。	子どもとの信頼関係を大切に支援を行っていますので、今後も継続していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	90% (18人)	5% (1人)		5% (1人)	・楽しみにしているかはわからないが笑顔で返ってきます。 ・通所のリュックを見ると嬉しそうに「明日行く？」と聞いて来ます。 ・たまに気分が乗らない時がありますが「楽しかった」と帰ってきます。	常に楽しい所と思って頂けます様、創意工夫を行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100% (20人)				・子どもの成長を感じますので満足しています。 ・とても感謝と満足をしています。	皆様のご意見を有難く頂戴しつつも現状に満足することなくこれからも精進して行きたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名

SORATO (UMIE) いなみ第二教室 ※SORATOいなみ第二教室

2024年12月27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100% (7人)		座学と運動と行う部屋を分離してわかりやすくしています。	現状維持していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	71% (5人)	29% (2人)	人数は多めに配置されています。	現状維持していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100% (7人)		玄関先からバリアフリーであり視覚支援を用いた構造化がなされています。	現状維持していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100% (7人)		毎日の清掃・消毒を行い、備品も視覚支援を利用し、必要な時はわかりやすく、不必要な時は見えなくしています。	現状維持していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100% (7人)		個別室を設置し、状況に応じて明るさや、視覚的配慮も行えます。	現状維持していきます。

業 務 改 善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100% (7人)		日々の振り返りと週に1回以上は行っているミーティングには全員が参加しています。	現状維持していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100% (7人)		評価表は必ず目を通してもらっています。出来る範囲での業務改善は職員間で話し合いの元、行っています。	現状維持していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100% (7人)		ミーティングで出た意見については出来るだけ早く対処するように努めています。	現状維持していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	58% (4人)	42% (3人)	現在行えていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100% (7人)		行っています。	回数が少ないので今後は増やして行けるように努めます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100% (7人)		結果表を紙面にてお渡ししております。	個別の内容になりますので公にはしていません。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	100% (7人)		細やかな聞き取りを行いその内容を職員間で共有した上で作成を行っています。	現状を維持していきます。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100% (7人)		同上	現状を維持していきます。

14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100% (7人)		同上	現状を維持していきます。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	86% (6人)	14% (1人)	日々の振り返りや記録を元に確認を行っていると言語聴覚士の検査を必ず受けてもらいその結果を取り入れた支援を行っています。	現状を維持していきます。
16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100% (7人)		行っています。	現状を維持していきます。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	86% (6人)	14% (1人)	週単位で集団活動の企画・立案を行っています。	現状を維持していきます。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100% (7人)		同上	現状を維持していきます。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	100% (7人)		計画書に基づいてはいるが発達状況に応じて行っています。	現状を維持していきます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	86% (6人)	14% (1人)	開始前には行えていませんが終了後に次回の支援についての話し合いを行っています。	支援前にも打ち合わせが出来るように検討していきたいと思います。

21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100% (7人)		行っています。	現状を維持していきます。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100% (7人)		連絡帳・ケース記録・ヒヤリハットなどを活用しています。	現状を維持していきます。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100% (7人)		行っています。	現状を維持していきます。
24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。				
25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。				
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100% (7人)		普段から支援に入っている職員・管理者・児発管、そのうち2名で参加しています。	現状を維持していきます。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100% (7人)		訪問看護・保育園・幼稚園など積極的に連携を行っています。	現状を維持していきます。
28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		100% (7人)	現在はまだ行えていません。	

29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	58% (4人)	42% (3人)	ありません。	
30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100% (7人)		利用後には必ず日々の状況を口頭にてお伝えしています。	現状を維持していきます。
31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100% (7人)		3か月に1度のペースで自由参加型の研修を行っています。	現状を維持していきます。
32	【 <u>児発事業所・児発センターのみ</u> 】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100% (7人)		必要に応じて保育所等に訪問し情報の共有や今後の事についてお話しする機会を設けている。また施設見学や送迎を活用し、顔の見える関係性を出来る限り築いています。	現状を維持していきます。
33	【 <u>児発事業所・児発センターのみ</u> 】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		100% (7人)	まだ就学に至ったお子様はいませんが、出来る限り情報共有していく所存です。	
34	【 <u>児発センターのみ</u> 】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
35	【 <u>児発センターのみ</u> 】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				

36	【 <u>児発センターのみ</u> 】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
37	【 <u>放デイのみ</u> 】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。				
38	【 <u>放デイのみ</u> 】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				
39	【 <u>放デイのみ</u> 】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
40	【 <u>放デイのみ</u> 】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。				
41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100% (7人)		契約の際に質問時間も設けて説明しています。	現状を維持していきます。
42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100% (7人)		契約後にアセスメントを取り家族・本人の意向を確認しています。	現状を維持していきます。

43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100% (7人)		原案にて説明し、変更があればその際に訂正 本案に反映させています。	現状を維持していきます。
44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100% (7人)		かなり限定されていますが定期的に時間を 取って行っています。	現状を維持していきます。
45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100% (7人)		兄弟同士での交流の機会はあるが設けては いませんが、3か月に1回の研修会の後には 交流会を設けています。	現状を維持していきます。
46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100% (7人)		相談等があればその都度出来る限り対応 しています。 (雨に濡れないようにして欲しい→玄関に屋 根を設置)	現状を維持していきます。
47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100% (7人)		日々の個別の活動内容や集団活動の内容など 普段見て頂けない様子をInstagramを活 用してお伝えしています。	現状を維持していきます。
48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100% (7人)		持ち出し禁止し、鍵の付いた保管庫にて管理 しています。	現状を維持していきます。
49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100% (7人)		各々に合った方法（メール・書面・口頭な ど）を用いてお伝えしています。	現状を維持していきます。

	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100% (7人)	現在行っていません。	
	51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。				
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100% (7人)		毎月の研修会の際に座学・ロールプレイング等で実施。また各教室にて訓練を実施しています。	現状を維持していきます。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100% (7人)		教室で3か月に1回。施設全体では半年に1回で行っています。	現状を維持していきます。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100% (7人)		行っています。	現状を維持していきます。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100% (7人)		アセスメントの際に確認し、あればそのように対応致します。	現状を維持していきます。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100% (7人)		各分野に分散させて計画書を作成。内容に基づいた措置を行っています。	現状を維持していきます。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100% (7人)		契約の際にご説明をしています。	現状を維持していきます。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100% (7人)		今日の内容の報告する際にヒヤリハットの内容も報告し、その内容に沿った解決策をその都度検討しています。	現状を維持していきます。

	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100% (7人)		社内研修以外にも社外研修に時間が合えば積極的に参加しています。	現状を維持していきます。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100% (7人)		契約の際にご説明を行っています。	現状を維持していきます。